

平成28年7月8日

厚生労働省障害福祉課  
全国社会福祉協議会  
全国身体障害者施設協議会  
熊本県身体障害児者施設協議会  
熊本県障がい者支援課  
熊本市障害保健福祉課

御中

熊本県身体障害児者施設協議会  
会長 三浦 貴子  
(愛隣館)

## 熊本地震における支援等の状況報告について (25号)

6月30日～7月7日報告をします。

### 支援協力者

- ①くまむた荘←福岡県浩明寮：田島さん・仁田原さん。慈久園：荒木さん。カーサ陽だまりの里：江見さん、土谷さん。千歳療護園：菊池さん。熊本県くぬぎ園：築地さん・坂梨さん。たまきな荘：福島さん・上田さん。星光園：松本さん・古賀さん。
- ②愛隣館←福岡県慈久園：吉田さん。  
福岡県菊池園：有馬さん・横田さん・井上さん・酒井さん・鶴さん。
- ③被災地支援事業←山鹿市ボランティア連絡協議会：田上さん・福本さん・本田さん・福島さん。ベトナム育英会：川崎さん。長崎県もみの木園：江島さん・川崎さん。福岡県菊池園：有馬さん、横田さん。慈久園：吉田さん。愛隣館スタッフ。

### 物資等の受け渡し

- ・思いやり活動まるごみ薩摩本部実行委員会様（鹿児島県）よりおかし
- ・もみの木園（長崎県）よりお菓子
- ・愛隣館（JA鹿本様物資等）→ 被災地障害者支援センターくまもと  
→ JDF熊本支援グループ
- ・被災地障害者支援センターくまもと（衛生用品）→ 愛隣館
- ・愛隣館（身障協様介護用品等・JA鹿本様物資等）  
→（来館）苓龍苑・くまむた荘・たちばな園・たまきな荘・けやき

### 支援金 6月29日～7月7日

【熊本県身体障害児者施設協議会】肥後銀行 水道町支店 普通預金 2489873

- ・日本介助犬協会様（神奈川県）、(福)ゆたか会 理事長 杉橋研一様（滋賀県）、聖マーガレットホーム 鶴ノ沢勅子様（千葉県）、たいようの里 坂元優子様（福岡県）

【(福) 愛隣園 熊本地震被災者支援口座】鹿本農業協同組合 山鹿支所 普通預金 0134907

- ・清友の里職員一同様（宮崎県）、酒井セツ様（東京都）、上村郁子様（東京都）、芝崎悦子様（東京都）

ご支援・ご協力まことにありがとうございました。

## 【活動と現状について】

### (1) 支援報告

①くまむた荘への人的支援は、6月30日で福岡県身障協5名ずつの派遣が終了しました。遠路、多数の継続支援に心から感謝を申し上げます。同日より、熊本県内で派遣可能な8施設が2名ずつ7月末までを支援リレー致します。先発の2施設より感想を頂きましたので、掲載します。

・たまきな荘（5/8～5/10・7/4～7/6）上田久美さん感想

仮設住宅待ちだったり、被災した家から通われている職員さんと一緒に働いた。擁壁工事が行われており、8月から建物工事の予定と聞き、元の状態にもどるには、まだまだ時間がかかる様子で、心配になった。自分にできることがあれば、やりたかった。ご利用者・職員の方々は明るく元気があり、完璧なプライバシーの確保など、素晴らしいと思うことがたくさんあり、とても勉強になった。「自分の支援はこれで良かったのか、悪いところは直していきたい」と思うので、評価がほしい。

・くぬぎ園（6/30～7/2）築地剛さん感想

くまむた荘で仕事をさせて頂き、被災の大きさを実感した。支援というより自分の勉強となった。くぬぎ園他の職員も同じ経験をする必要があると思った。

### (2) 会議・情報交換

①7月1日、身障協 正副会長と委員長等で厚労省を訪問し、ご着任の梶尾雅宏障害保健福祉部長、内山博之障害福祉課長に、「平成28年熊本地震による被災障害者支援施設・事業所の復旧・復興にかかる要望」を手渡し、説明をさせて頂きました。出来る限りの対応をしたいとの回答と、後の意見交換にて、担当平山係長より、1つ1つの要望項目について、丁寧な解釈と説明がありました。災害復旧補助の対象となる「原形復旧」の考え方として、施設の開設時の基準ではなく、現在の基準(H28年)に合わせた復旧と考えて良いという回答等が得られました。

また、国庫補助申請期間としての、いわゆる30日間ルールに関しては、余震の続く状況、見積もり業者の不足などは把握しているので、申請を諦めずに出すようにとの話がありました。詳しくは県身障児者協議会の会議にて報告します。

②7月1日、17年間当方とベトナム支援でタイアップし、九障協の東北支援、そして今回の被災地支援にも発災直後からご尽力頂いている佐賀のベトナム育英会(秀嶋代表)が、公益財団法人社会貢献支援財団 第46回社会貢献者表彰を受賞し、帝国ホテルでの表彰式典に同席しました。

### (3) 地域支援報告

①7月2日山鹿温泉リフレッシュ事業

熊本市東部の皆さんは、ちょうど仮設住宅の抽選日と重なり参加者は少なめでしたが、食事の後将棋をしたり、ホテルのそばの足湯や八千代座など散策されました。当日は、気温が30度を超え、汗だくで戻られた皆さんは再度温泉で汗を流して避難所へと戻られました。

益城町の皆さんは、小さい子どもさんからご年配の方まで、いつも家族的な明るい雰囲気。お食事の前にお風呂に入る人、お食事を終えてゆっくり入る人、山鹿温泉をそれぞれ楽しんでおられました。一同そろったところで本田ボラ連会長が『気功』をご指導。30分程のレッスンのおかげでぐっすり眠られたことと思います。

## ②7月6日山鹿温泉リフレッシュ事業

熊本市グループホームの皆さんは以前より一緒におられるので、お互いを知りつくし和やかな雰囲気。食欲旺盛で冷やしうどんと巾着寿司を一つ残さずとてもおいしそうに食べられました。慣れてこられたのか、山鹿のこと、出身地や参議院選挙、仕事や地震の話をたくさんしてくださいました。

西原村の皆さんも、仮設住宅が決まった人、当日戻ってから仮設の説明会がある人と、地震の後の生活が変わり始め、「今回は最後の参加かもしれん。地震で生活は変わったばってん、いろいろな人と知り合い親切にしてもらって・・・地震があっただけん何度も山鹿の温泉に来れたし、あんたたちと会えて良かった」と、感慨深げにお話しされました。

## おわりに

西原の福祉避難所からリフレッシュ支援をご利用だった86才と90才の仲の良いご夫妻が、地元の福祉施設に移られたと伺いました。発災直後、被災したその施設から17名の方々を当法人の特別養護老人ホームに受け入れ、6月半ばに10名の方々が戻られたところです。復旧が進んでいることを嬉しく思います。

一方で、本日の地元紙に、県内古墳群の甚大な被害(40基)が報告されていました。住宅損壊の少なかった当市の国指定史跡装飾古墳もまた壊れているとのこと。まだ直視できないでいる熊本城をはじめ、古代から長い年月を超えてきた文化財の被害にも心痛みます。

(連絡先) 障害者支援施設愛隣館  
TEL : 0968-43-2771  
FAX : 0968-43-2793